

年おさめに

一年の感謝とともに

迎える新しい一年



お伊勢さまは
日本を
お守りくださる
尊い神さま

伊勢の神宮は全国に数ある神社の中でも、特別な存在のお宮で、皇室の御祖神である天照大御神をおまつりしています。天照大御神は、太陽のように私たちを見守り、育んでくださる神さまです。

伊勢の神宮のお神札を、神宮大麻たいまといい、全国の神社でお願わがちしています。

氏神さまは
私たちを
お守りくださる
身近な神さま

日本では代々、祖先に縁ゆかりの深い神さまや、地域をお守りくださる土地神さまを氏神さまとおまつりしてきました。

おまつりされている神さまは神社によって様々ですが、氏神さまは地域に住む人々の生活や、地域の平穏を見守ってくださっています。

正月

新年を迎えるにあたって

日本人は古くから新年を迎えるにあたって、正月への準備を入念に行ってきました。まず、一年の幸せと実りをもたらしてください。歳神さまをお迎えするために、家の内外を掃除する「煤すすはら払い」を行います。今日では暮れの大掃除として、広く一般的に行われています。神棚も同様に綺麗にし、神社から受けた新しいお神札をおまつりします。古いお神札は一年間無事に過ごせた感謝を込めて、氏神神社に納めてお焚き上げしていただきます。また、歳神さまの依り代となる門松を立て、家内を祓い清めるための注連縄を飾り、歳神さまへの供え物である鏡餅等を供えます。年が明けてからは、氏神さまや崇敬神社へ初詣に行き、新たな一年の安全と多幸をお祈りしましょう。



ご家庭でお神札をおまつりしましょう

神さまに対するおまつりは、家庭の中でおこなうことができます。ご家庭の中心に神棚を据えて、お伊勢さまと氏神さま、崇敬する神社のお神札をおまつりし、日々の暮らしの中の感謝と祈りをささげるとともに、お子さまの誕生や結婚など、ご家庭で大きな出来事があった際には、氏神さまに奉告し、新たに迎える生活の平穏を祈りましょう。神棚は、居間などの家族が集まる部屋の目線より高い位置に、南または東向きに設置するのがよいとされています。



季節のまつり

四季折々の行事は自然の恵みに感謝し、季節を楽しむ日本人の暮らしの知恵や祈りが込められています。年中行事を通じて季節の移ろいを感じ、彩のある生活を送りましょう。

春：生命が萌え出する春。立春の前日にあたる節分には無病息災を祈願し豆撒きで邪気を追い払い、ひな祭りや端午の節供では子供の成長を祈ります。

夏：雨と太陽が生命に恵みを与える夏。夏越の祓には知らずに犯した罪や過ち、心身の穢を祓い清め、茅の輪くぐりを行い、お盆にはご先祖さまを迎える準備をしましょう。

秋：野山が色づく、実りの秋。十五夜には中秋の名月の下、団子などを供えて作物の実に感謝します。

冬：生命の誕生と再生に向けて準備を行う冬。太陽の再生の日と言われる冬至には柚子湯に入って健康を祈り、元旦を迎える準備をし、一年の始まりをお祝いしましょう。

服忌

家庭にご不幸があった場合、一般的には五十日間を忌中として故人を偲び、神棚に半紙を貼るなどして、おまつりを遠慮します。忌が明ければ再びおまつりし、通常の生活に戻ります。忌の期間が正月をまたぐ場合は、忌が明けてからお神札を受けましょう。なお、親戚の方が亡くなられた場合は、お葬式を出したお家でなければ、通常のおまつりをして問題ありません。



神社でのご祈願

神社では様々なご祈願を受け付けています。いつもより神さまに近い場所で、お願い事を届けてみては如何でしょうか。

- ・皇室彌栄
- ・神恩感謝
- ・大漁祈願
- ・身体健全
- ・学業成就
- ・旅行安全
- ・子授祈願
- ・心願成就
- ・竣工祭
- ・厄除祈願
- ・国家安泰
- ・五穀豊穣
- ・家内安全
- ・商売繁盛
- ・交通安全
- ・縁結祈願
- ・病氣平癒
- ・地鎮祭
- ・自動車清祓



神社本庁
ホームページ

<https://www.jinjahoncho.or.jp/>

厄除

厄年は様々な災難にあいやすい年といわれています。本厄にあたる年と、その年の前後に前厄・後厄があり、神社にお参りをして、災厄を除けるために厄祓い（厄除祈願）をします。

令和6年 厄年表

	前厄	本厄	後厄
男性	24歳 (平成13年生)	25歳 (平成12年生)	26歳 (平成11年生)
	41歳 (昭和59年生)	42歳 (昭和58年生)	43歳 (昭和57年生)
	60歳 (昭和40年生)	61歳 (昭和39年生)	62歳 (昭和38年生)
女性	18歳 (平成19年生)	19歳 (平成18年生)	20歳 (平成17年生)
	32歳 (平成5年生)	33歳 (平成4年生)	34歳 (平成3年生)
	36歳 (昭和64年/平成元年生)	37歳 (昭和63年生)	38歳 (昭和62年生)
	60歳 (昭和40年生)	61歳 (昭和39年生)	62歳 (昭和38年生)

【厄年表】(※)数え年は、誕生日前の場合には2歳、誕生日を迎えている場合は、1歳を足して計算します。